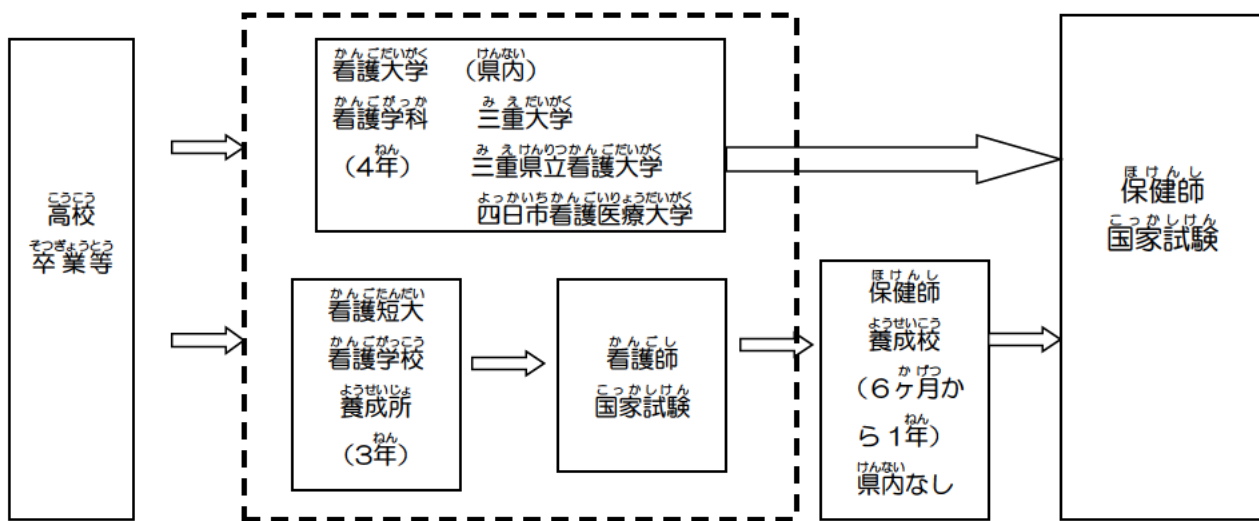


ほけんし 4 保健師

保健師は、市町村の役所や保健所、保健センターなどで、地域の人たちの健康を守るため指導や相談相手となる仕事です。病気の予防や健康でいるために赤ちゃんからお年寄りまでを対象に、生活や健康状態を聞きながらアドバイスやサポートをします。しかし外国語ができる人がほとんどいません。母国語で相談ができる保健師は、外国人住民にとって心強い存在となります。健康や医療に興味がある人、人と話すことが好きな人に向いています。

保健師になるには

看護師免許が必要（詳しくは「6 看護師・准看護師」参照）



<早くから準備をしましょう>

保健師になるための学校に入るには、高い日本語能力や学力が求められます。

この仕事に就くには看護師の免許を取得することが必要です。

<資格を取れば どのようなところに就職できるの？>

就職先の多くは、市町村の保健センターや県の保健所です。ただし公務員試験（37 公務員参照）があります。

市町村によって違いますが、平均年収は約520万円です。

<費用（学費）はどれくらい？>

6 看護師・准看護師を参照

保健師養成校は、学校により異なりますが、200万円以上です。

<奨学金があります>

6 看護師・准看護師を参照

